

医療情報標準化指針提案申請書

申請受付番号	HS010	事務局受付日	2009年1月27日	申請日	2009年1月26日
提案申請団体名 ・責任者名	日本PACS研究会 平井 正明		規格作成団体名 ・責任者名	日本PACS研究会 喜多 紘一	
提案規格案名 (版数)	和名	ISO/TS 11073-92001:2007 保健医療情報－医療波形フォーマット－第92001部:符号化規則			
	英名	ISO/TS 11073-92001:2007 Health informatics — Medical waveform format — Part 92001: Encoding rules			
提案規格案の目的、概要(提案規格案策定経緯及び決定プロセス)	和文	心電図、脳波、呼吸波形などいわゆる医用波形情報は臨床現場で広く利用されている。医療情報の電子化と共にこれら医療波形のための医療機関間、世代を超え日常の臨床現場から研究分野に至るまで利用可能な標準が望まれていた。本規格(MFER)はあらゆる医用波形の記述が可能なのみならず、他の規格との親和性も十分考慮されていて、広く臨床現場、研究分野で利用可能な規格である。既に国内では心電学会の標準規格として採用され、ISO/TS 11073-92001:2007として制定されている。			
	英文	Medical waveform such as standard 12 lead ECG, EEG, spirometry are widely used in clinical fields. This standard is able to describe any medical waveform and It is considered to harmonize with other standard such as HL7, DICOM etc. This standard is recognized by the Japanese Society of Electrocardiography for ECG. Also this is already published as ISO/TS 11073-92001:2007.			
提案規格案の適用領域、使用方法 標準12誘導心電図やホルター心電図、脳波などあらゆる医用波形が記述可能である。既にMIME登録済みで、メディアでの波形交換のみならずインターネット上でも広く利用できる。					
関連他標準との関係(相違点及重複点の取り扱い方) SCP-ECG、HL7、DICOMなどでも一部の波形や適用は可能であるが、これらの規格は複雑で専門知識が必要で広く簡単に利用できるものではない。MFERはこれらの規格と共存も可能であると共に必要に応じて容易に変換できる					
提案規格案の関連情報	メンテナンスの方法 ISOが保守を行う				
	入手資格 特に資格は必要ではない				
	入手方法 ISOまたは各国担当機関(日本は社団法人日本規格協会(JSA))で入手可能				
	有効期限 特に定めていない。ただし、ISOはTSであり今後のIS化への作業が必要。CENでの規格化について承認済みであるがスケジュールは未定である。				
	価格等 12,852円(JSAから購入可)				
	知的所有権 ISOが著作権を持つ				
添付資料 ISO/TS 11073-92001:2007					
実務運用上の連絡者	・氏名 益田千尋 ・TEL03-5805-8201・FAX03-5805-8211 ・E-mail:omasuda@medis.or.jp				
特記事項	本規格は日本PACS研究会とMFER委員会において作成され、NEDO、MEDIS-DCや日本心電学会の支援を受けISOに提案を行いTS規格となったものである。ISO化案としての日本版規格は日本PACS研究会およびMFER委員会ホームページで参照可能である。				